

年間騒音発生回数

11,105 回

(平成27年度 上大謝名地区)

市の中でも特に騒音発生回数が多い上大謝名地区では、1日あたりで31回(平成27年度)もの騒音が測定されています。基地周辺では、日常的に騒音にさらされた生活を余儀なくされており、住民にとって大きな負担となっています。



騒音最高値

120.8dB

(平成27年7月31日 上大謝名地区)

夜間騒音

99.7dB

22時34分測定 (平成29年3月2日 上大謝名地区)

平成27年度に測定された騒音最高値は120.8 dBで、これは、「飛行機のエンジン近く」に相当する騒音とされています。また、日米合意で22時以降の飛行は制限されているにもかかわらず、夜間騒音も度々記録されております。



騒音の大きさ	具体例
120dB	飛行機のエンジン近く
110dB	自動車のクラクション(前方2m)
100dB	電車通行時のガード下
90dB	騒々しい工場内

基地と財政

3.5%



宜野湾市の一般歳入額に占める基地関係収入の割合は3%台で推移しており、平成26年度においては、わずか3.5%となっております。基地があることによって、都市計画や施設配置に影響を与えるなど、市の経済発展を阻害する要因にもなっています。